

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ベルトサンダ SBS-760		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	店名 ()		

(注) ※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (二) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

ベルトサンダ SBS-760

警告 △ 取扱説明書



このたびはベルトサンダをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
- ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。国本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
 - ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
 - ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
 - ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
 - ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
 - ・作業場の近くに作業者以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の高い場所では使用しないで下さい。
 - ・感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
 - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
 - ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
 - ・ 工具を本機や身近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
 - ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くなり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

注前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

ベルトサンダご使用上の注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ベルトサンダとしてさらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ・ 本機が輸送上において衝撃等により接続金具が外れたり、破損することがありますので、使用前に必ず各部を確認してください。破損したままご使用になりますと、思わぬ事故の原因になります。
- ・ 使用前に電源コード、プラグを点検してください。傷んだまま使用しますと、火傷、感電、火災の恐れがあり危険です。
- ・ 使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違えて200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れがあり危険です。
- ・ プラグを電源に差しこむ前に、**スイッチが切れていることを確認**してください。また、使用後はスイッチが切れていることを確認し、プラグを電源から抜いてください。
- ・ 使用中は、本機を**両手で確実に保持**してください。確実に保持していないと、本機が振れ事故の原因になります。
- ・ 本機を、**雨中や湿気の多い**ところで使用したり放置しないでください。また、**ぬれた手**で電源プラグにふれないでください。感電の恐れがあり危険です。
- ・ **水や研削液**などを使用しないでください。感電事故のもとになり、大変危険です。
- ・ ご使用前に必ず**試運転**をしてください。作業開始前には1分程度の試運転を心がけてください。
- ・ 本機の使用及び据付では、**水平で安定した場所**を選定してください。不安定な作業台や場所での使用では、思わぬ事故の原因となります。
- ・ 本機を逆さにしての使用では、水平で安定した台に**付属のクランプで確実に固定**してから研削をしてください。固定が不十分ですと、本機がクランプから外れて思わぬ事故の原因となります。
- ・ 本機を、逆さに据付以外では**材料を手を持って研削**しないでください。高速回転中のベルトに手が触れて、けがの原因になります。
- ・ **サンディングベルトの交換**をするときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて交換をしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。
- ・ **小さいお子様や、不慣れな方には絶対に使わせないでください。**事故の原因になります。
- ・ 作業者は、**長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク等を必ず身につけて**ください。研削粉や火花が飛び散り、火傷や目、口に研削粉が入る事があり危険です。
- ・ **可燃性の液体やガスのある所では絶対に使用しないで下さい。**可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- ・ 使用中、本機の異常に気づいたときは直ちにスイッチを切り、プラグを電源から抜いてお買い上げの販売店、または弊社にご連絡ください。(または修理に出してください)。

⚠ 注意

- ・研削時はハンドルを強く押し過ぎないでください。本機のモーターに強い負荷がかかり故障の原因となります。
- ・本機は、スイッチを切ってもベルトの回転はすぐに止まりません。持ち運びでは、回転の停止を確認してください。
- ・研削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので、直ぐには触らないでください
- ・作業者以外は、本機の回りに近付けないでください。周囲に切削粉が飛び散り、思わぬ事故の原因になります。

仕様明細

形 式 名	SBS-760
電 圧	AC-100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	650W
電 流	6.8A
研削ベルト寸法	幅76mm×周長457mm
ベルトの速度	220m/min
電 源 コ ー ド	2.5m
質 量	本体3Kg
定 格 時 間	30分
絶 縁 方 式	回二重絶縁

※ 本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

延長コードについて

- ・電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- ・コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの関係（ご参考）

コードの太さ（導体公称断面積）	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

図ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

部品の名称

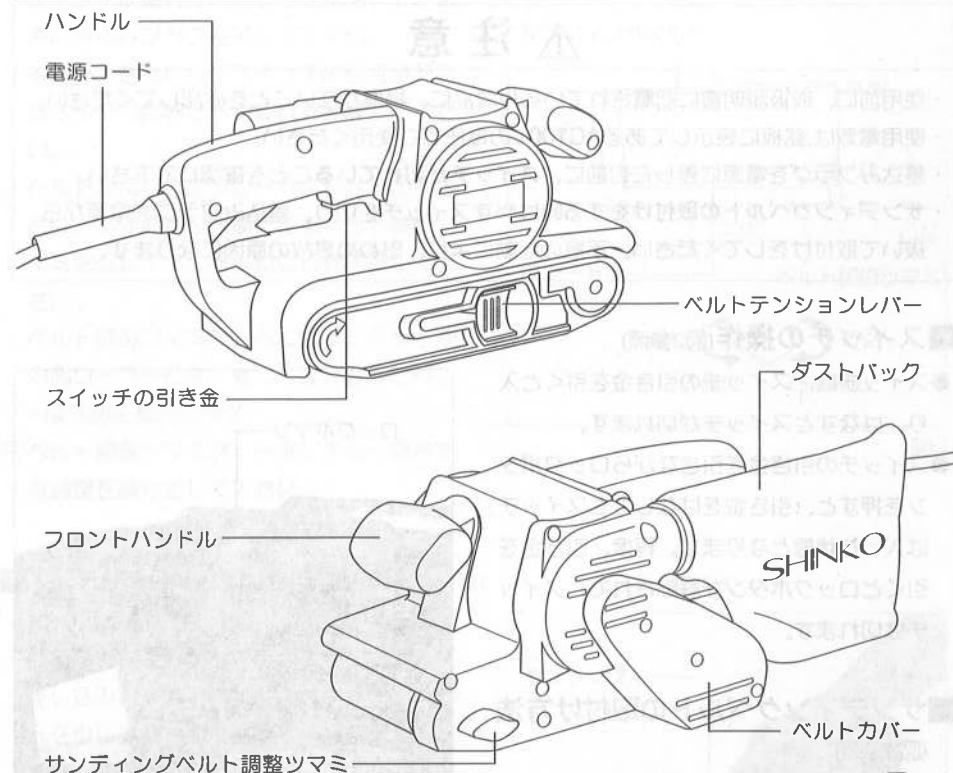

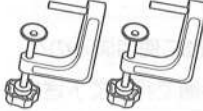



図1

付属部品

サ ン デ ィ ン グ ベ ル ト	寸 法		粒 度	数
		幅76mm×周長457mm		# 60
			# 120	1
			# 180	1
ク ラ ン プ				2
ダ ス ト バ ッ ク				1

用 途

- ・木材、金属等の研削、研磨、錆落とし、塗装はがし

ご使用前の準備

⚠ 注意

- ・使用前に、取扱説明書に記載されている付属品に、損傷がないことを確認してください。
- ・使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。
- ・差し込みプラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認して下さい。
- ・サンディングベルトの取付けをする時は必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて取付けをしてください。不意の起動により、思わぬ事故の原因になります。

■スイッチの操作(図2参照)

- スイッチは、スイッチの引き金を引くと入り、はなすとスイッチが切れます。
- スイッチの引き金を引きながらロックボタンを押すと、引き金をはなしてもスイッチは入った状態となります。再度、引き金を引くとロックボタンが解除されて、スイッチは切れます。

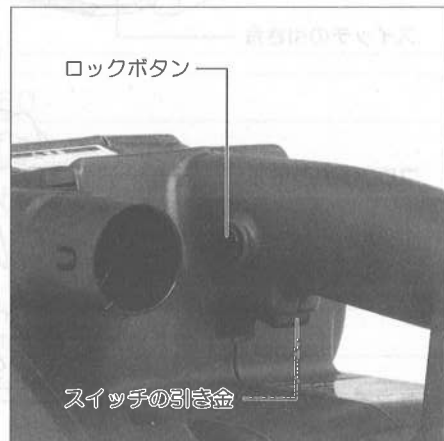


図2

■サンディングベルトの取付け方法

(図3参照)

- ①ベルトテンションレバーを完全に引き起こして下さい。
 - ②プレートにベルトを差しこみます。本機の回転方向とサンディングベルトの矢印を合わせて挿入して下さい。
 - ③ベルトテンションレバーを元の位置に倒して下さい。
- ベルトの交換では、①の後に使用済みのベルトを抜き取り②、③の手順で行って下さい。
- ☑サンディングベルトの取付けでは、必ず本機の回転方向とベルトの矢印を合わせて挿入して下さい。逆向きに取付けますと、ベルトの継ぎ目が切れやすく寿命が短くなります。



図3

■サンディングベルトの位置調整方法(図4参照)

- ・スイッチが切れていることを確認して、電源に差し込みプラグを差して下さい。
- ・本機を、逆さにしてスイッチの引き金を引きベルトの回転と、ねじれを確認して下さい。
- ・ベルトがねじれてプレートよりはみ出す場合は、本体前方左側面にあるベルト調整ツマミを回してベルトのねじれを調整して下さい。
- ・ベルト調整ツマミは、右に回すとベルトが内側ローラー凸部に寄り、左に回すとベルトは外側に移動します。

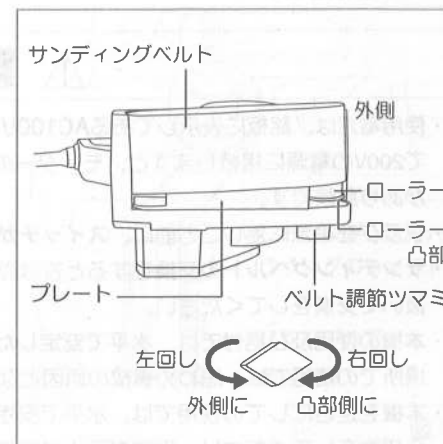


図4

- ☑ベルト調整ツマミは、一度に大きく回さず微調整を繰り返して下さい。

■ダストバックの取付け方法(図5参照)

- ・ダストバックを本機のダストノズルに差し込んでください。
- ・差し込み、引き抜きは、ダストバックの口元を少し回すようにするとスムーズにできます。
- ・ダストバックにたまったゴミは、早めに捨ててください。
- ・ゴミをすてるときは、ダストバックのファスナーを引き、中のゴミを捨てて下さい。



図5

ご使用方法

⚠ 警告

- ・使用電源は、銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。100Vのものを間違っ
て200Vの電源に接続しますと、モーターの回転が異常に高くなり、本機が破損する恐れ
があり危険です。
- ・プラグを電源に差しこむ前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・サンディングベルトの交換をするときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から
抜いて交換をしてください。
- ・本機の使用及び据付では、水平で安定した場所を選定してください。不安定な作業台や
場所での使用では、思わぬ事故の原因となります。
- ・本機を逆さにしての使用では、水平で安定した台に付属のクランプで確実に固定してから
研削をしてください。固定が不十分ですと、本機がクランプから外れて思わぬ事故の
原因となります。

⚠ 注意

- ・研削時はハンドルを強く押し過ぎないでください。本機のモーターに強い負荷がかかり
故障の原因となります。
- ・本機は、スイッチを切ってもベルトの回転はすぐに止まりません。持ち運びでは回転の
停止を確認してください。
- ・研削直後の材料は熱くなっています。火傷の恐れがありますので直ぐには触らないでく
ださい。
- ・作業者は、長袖、長ズボン、保護メガネ、マスク等を必ず身につけてください。

■研削の方法(図6参照)

- ・ハンドル、フロントハンドルを両手で確実に保持してください。
 - ・スイッチの引き金を引き、研削する材料の加工面に静かに当てて下さい。
 - ・本機を、前後にすべらせるように動かして作業をします。
- ☞スイッチの引き金を引き、ロックボタンを押
しますとスイッチを離しても連続運転で作業
ができます。再度、引き金を引くとロックボ
タンが解除されてスイッチは切れます。



図6

■クランプの使用方法(図7参照)

- ・本機を、逆さに固定する事で研削材料を手
持って加工することができます。
- ① 水平で安定した作業台に、本機を逆さにして
置きます。
 - ② 付属のクランプ2個のシャフトを、本機のク
ランプ差し込み穴に通します。
 - ③ クランプのアームを作業台に当て、アームと
本機が密着するように本機を引き寄せ位置を
決めてください。
 - ④ 固定ノブを回して、本機を確実に作業台に固
定して下さい。
 - ⑤ スwitchの引き金を押し、ロックボタンを押
して連続運転をさせます。

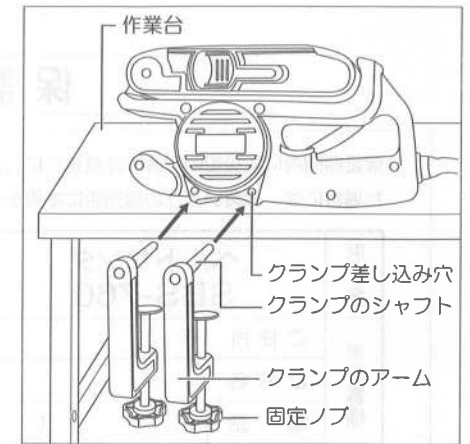


図7

- ☞本機の固定には、必ず付属のクランプをご使用して下さい。
- ☞クランプの固定は、作業開始前、作業途中にゆるみがないか時々確認をし、ゆるんでいる
ときは本文②～④の手順で本機を確実に固定してください。
- ☞小さい材料の研削では、材料が飛ばされないように注意して下さい。

保守、点検について

- ・作業が終わりましたらスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。
- ・粉塵を取り除き、乾いた布できれいにふいて下さい。
- ・屋内の湿気の少ない、お子様の手の届かない所に保管して下さい。
- ・本機についてのお問合せ、修理等は、お買い上げの販売店または弊社にご連絡下さい